

令和5年度 鹿児島市立武岡中学校 学校運営協議会評価書

評価欄にA～Dの評価（A 非常に良かった B 良かった C やや努力を要する D 非常に努力を要する）と御意見等を記入ください。

項目	重点目標 ※ 丸数字は、教職員の学校評価項目(別紙)	取組状況 (成果○・課題●)	改善点及び次年度の構想	学校関係者評価委員会での評価及び意見
自立に係ることに	1 キャリア教育 <ul style="list-style-type: none"> 計画的な体験活動，行事と関連づけた指導 自己実現のための進路指導と進路情報の提供 2 学力向上 <ul style="list-style-type: none"> 少人数指導や個別指導の充実による知識・技能の確実な習得 I C T機器等の積極的な活用(授業活用6割) 家庭と連携し，学習習慣を確立 鹿児島学習定着度調査通過率(各教科70%) 3 健康安全指導と体力・気力の向上 <ul style="list-style-type: none"> 生徒の健康状況等の把握 基本的な生活習慣の確立，睡眠について(家庭との連携) 積極的な体力づくり 食育を通して，体力・気力の充実に努める。残食を減らす。 危険予知能力や対応力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の反省を踏まえ，行事や体験活動は工夫しながら，予定通り実施できた。 3年生は，三者相談や職場体験，高等学校説明会などを通して，希望する高校へ進学できるように指導や進路資料提供を行った。 全教科でタブレット端末(ロイロノート)を活用し，授業の効率化が進んだが活用は6割弱 県のWEB問題やドリルアプリを毎時間の復習や定期テスト問題に活用 生徒会保健部を中心に，残食調査を行い啓発することで，残食量は昨年度より減った。 生活リズムがくずれ，午前中に気分不良を訴える生徒が学年に数名いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や体験活動を工夫しながら実施する。 生徒も教師も更にI C T機器を積極的に活用し「分かる授業」を実践を継続する。 各種調査や標準学力検査等の結果から，教科の基礎・基本の定着が不十分なところや苦手なところを集中して取り組ませる。A IドリルやWEB問題の活用を図る。 健康診断の結果を基に，家庭と連携して，生徒の健康増進や体力向上を図る。 	評価 B <ul style="list-style-type: none"> 昨今の慌ただしく教育が変わりつつある中で，次世代の子供たちが夢をもって学ぶことの大切さを思い続けてほしいと思います。 1年生の個人差や教科別の学力差が気になるが，全体的によく努力している。 公立高校の定員割れを見ると点数だけで判断するのも無理がでてくると思うが現在はどうか。教育を受けることも選択肢の一つだが，選択肢が広がりすぎて安易に流れてほしくないと思う。 昨年度よかった1年生が2年生になって成績が伸びきっていない気がする。それでも県平均より高いので評価します。
友愛に係ることに	1 心豊かな生徒の育成 <ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業や学校行事等の教育活動全体を通して道徳的実践力を培い，自他の大切さを認めることができる生徒の育成 何事にもあきらめず挑戦し，自己肯定感を高めさせる。 2 心の通い合う集団づくりと個に応じた生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> 生徒との信頼関係を構築し，笑顔や温かい言葉があふれる集団づくり(学校行事，生徒会，部活動等) 対話を通して意見の相違を乗り越え，よりよい人間関係の構築 スクールカウンセラーや各関係機関等と連携を図り，不登校・いじめに対応する。 問題行動の未然防止・早期対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で道徳の授業を行った。 朝読書に加えて，読書旬間を設定し給食時の読書担当や学校図書館司書による読み聞かせを行った。 四大大行事(音楽発表会，体育大会，文化祭，持久走大会)は生徒・教師一丸となって取り組むことことで，絆づくりや居場所づくりができた。 問題行動が数件あった。 情報モラルについては，随時指導をしてきたが，なかなか浸透していない。 いじめについては積極的に認知し，指導をしている。 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し改善の見られる生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で道徳の授業に取り組む。 不登校生徒の減少について，目標を持ちながら継続して粘り強く取り組む。 ソーシャルスキルや判断力を身に付けさせながら，規範意識の醸成を図る。 安全教室などを情報端末機器の安全な使用についての指導を継続し，生徒だけでなく保護者への啓発を推進する。 関係機関との連携を更に進める。 	評価 A <ul style="list-style-type: none"> いじめや不登校などの実態を学年や学校全体でよく把握し，共通理解のもとに対策を講じている。 先生方の生徒への熱意は頭が下がります。ただ，保護者や生徒自身にもっと自分事として思ってもらいたいと思います。基本的な生活習慣の大切さを切に思ってもらいたいと思います。 不登校傾向，不登校の生徒の解決は難しいと思いますが，生徒自身も暗中模索していると思うのでこれからもお力添えください。 教育課程，生徒指導などそれぞれの問題点を把握されており，必要なアンケートが実施されるなど真剣に取り組んでいる。
創造に係ることに	1 家庭や地域の信頼に応える学校づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> 授業参観や学校・学年・学級だより，ホームページ等で，情報を発信し，開かれた学校づくりに努める。 校区内の危険箇所の把握と災害発生時の連絡整備 どこでも，誰にでも，丁寧なあいさつができる生徒を育成(一学校一改革：「文武両道」とあいさつ活動の充実) 地域の人材等を積極的な活用 学校内外の活動を通して，郷土武岡を愛する心情を育てる。 2 職員の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> 授業を通じた研修による指導力の更なる向上 校内研修等により教育公務員としての倫理観の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやブログを使い，生徒の様子や，学校活動について紹介できた。(現在まで80回更新) 危険箇所・安全指導について随時指導した。 校内ではあいさつについては，ワンストップあいさつ，3Dあいさつができるようになってはいるがまだ不十分である。 地域ボランティアの活用や地域人材活用ができた。(触れあい活動，お琴指導，健康教育等) ラジオ体操と立志の集いに参加できた。 年間13回研究授業を行い，指導法の改善に取り組んだ。 サービス指導は，随時実施している 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価を基に，来年度の取組を進める。 生徒会を中心にあいさつ運動を更に進め，地域でもしっかりとあいさつできるように継続して取り組んでいく。 地域行事への積極的な参加を促す。(運動会，文化祭等) 地域人材や学校支援ボランティアの活用は来年度も継続して実施する。(地域の方との触れあい活動や琴の指導等) サービス指導は随時行う。 	評価 A <ul style="list-style-type: none"> 学校や地域など他を尊重する教育活動がなされている。 自分を尊重することも大事ですが，公共を尊重することも近年大事にしてほしいと思う。(公務員希望者が年々少なくなっている。) 地域活動に参加する生徒が増えてきていてとても頼もしく思っている。 生徒主体による運動会，文化祭等は以前と変わらない。生徒の純粋な熱意を感じられ嬉しです。 学校の4大行事に生徒たちが中心になって取り組んでおり，感銘を覚えます。